

先輩職員インタビュー

技術教育支援センター 建設環境物質班 女性職員 (令和3年度採用)

石川高専の技術職員に応募したきっかけは？

私の出身地である石川県で、自分が学生時代に身に着けた実験技術などを生かし、将来技術者・科学者をを目指す学生を支援できる仕事がしたいと思ったことがきっかけです。また、大学生の時に塾でアルバイトをしていたことから、教育に携わりたいという思いもあり、専門分野を低学年から学び、1年生から5年生という幅広い学生が在籍している石川高専でなら、多様な学生と関わることが出来るのではないかと感じ志望しました。



現在の仕事内容について教えてください



主に、1~2年生の化学実験と、環境都市工学科の学生実験の支援を行っています。学生が安全に実験を行える環境を整えることをこころがけ、事前の準備から実験終了後まで入念に確認を行います。また技術教育支援センターとして、地域の公民館での出前授業や、小中学生を対象としたこども石川高専などの地域連携業務も行っています。

やりがい・魅力は何ですか？

一番の魅力は学生との距離が近いことです。実験中に指導するだけでなく、授業時間外に挨拶や会話をしてくれる学生も多くいます。距離が近いことで、学生の成長を肌で感じる事が出来ます。また、学生や先生方から自分が持っている技術を必要とされる時には、とてもやりがいを感じます。



応募を検討中の方にメッセージをお願いします

技術職員は職員という立場ではありますが、上にも書きました通り学生との距離が近く、学生にとっては「先生」という立場として映る場合も多いです。また石川高専は、自分がやりたいと思ったこと、改善した方がいいと感じたことは受け入れて貰え、積極的に様々な事に取り組ませて頂ける環境です。教えることが好きな人、新しいことに挑戦したい人にはぴったりだと思います。

ある1日のスケジュール

8:30	出勤 メール、Teamsのチェック、1日のタスクを確認
8:50	1年生化学実験補助 化学担当教員とともに学生の実験の様子を確認
10:30	午後の実験準備 使用する機械の確認、実験器具の準備、予備実験
12:15	昼食 持参するお弁当を食べることが多いです
13:00	4年生環境都市工学科 学生実験補助 学生が安全かつスムーズに実験が行えるようサポートをします
15:30	実験片付け 使用した機械や器具、実験室の清掃
17:00	退勤 メール、Teams、明日の業務を確認して退勤